

(別紙5)

整理番号 2023P-099
補助事業名 2023年度 親との子ふれあい交流活動補助事業
補助事業者名 (公社) 国際演劇協会日本センター

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和の砦を築かなければならない」という一文で始まるユネスコ憲章の理念に基づき、本作の上演を継続していくことで、ヒロシマ・ナガサキを生きた人々の声を次の若い世代に伝え、平和についてのより深い理解と叡智をはぐくむ機会とする。日本語話者ではない観客にも観劇の機会となるよう、英語イヤホンガイドを無料提供するなど、国際間の対話を促す機会創出の一助とする。

(2) 実施内容

朗読劇『この子たちの夏1945・ヒロシマ ナガサキ』の上演

<https://iti-japan.or.jp/announce/8953/> (URL)

(1) 搬入 (8月4日)



(2) 仕込み (8月4日)

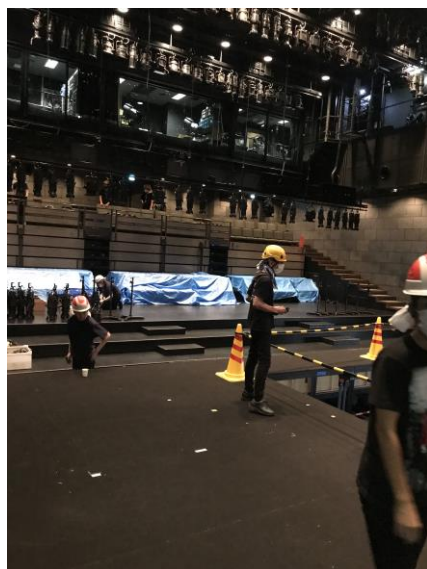


(別紙5)

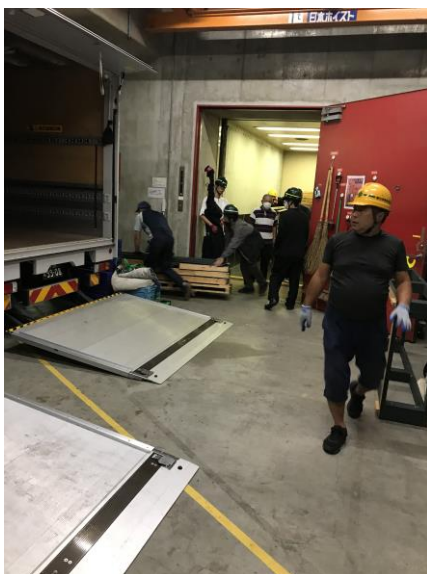
(3) 『この子たちの夏1945・ヒロシマ ナガサキ』公演 (8月7日、8日)



(4) 撤収作業



(5) 搬出



(別紙5)

(6) 劇場入り口 チラシ、
JKA ポスター掲示



(7) 三軒茶屋駅コンコースチラシ掲示



(8) キャロットタワー1F 電光掲示板表示



2 予想される事業実施効果

風化が危ぶまれる被爆体験であるが、本作の上演を続けていくことで、記録ではなく、記憶として次世代に伝えていくことが出来る。そのことが、より深い平和への理解を生むと考える。

3 補助事業に係わる成果物

(1) 補助事業により作成したもの <https://iti-japan.or.jp/announce/8953/> (URL)

完了報告ページ <https://iti-japan.or.jp/summer/>

チラシ

朗読劇
1945・ヒロシマナガサキ

この子たちの夏

1945・ヒロシマナガサキ

演出 木村光一
旺なつき
かとうかず子
島田歌穂
床嶋佳子
西山水木
根岸季衣
原日出子

原案 井川学
脚本 井川学

演出 木村光一
演出 石井隆司
監理 古宮俊明
監理 深川定次
演出 シライケタ
演出 井川学

死なせり、わたしもわすれず、母ちゃんもいし、と行くからね、と申しました。
あひからでいよと申しました。……お母ちゃんもあんなにかいよと申しました。

朗読劇
この子たちの夏
1945・ヒロシマナガサキ

旺なつき
かとうかず子
島田歌穂
根岸季衣
原日出子

演出 木村光一
演出 石井隆司
監理 古宮俊明
監理 深川定次
演出 シライケタ
演出 井川学

死なせり、わたしもわすれず、母ちゃんもいし、と行くからね、と申しました。
あひからでいよと申しました。……お母ちゃんもあんなにかいよと申しました。

2023年8月
5日(土) 13時/17時
6日(日) 14時
シアタートラム

チケット料金 (消費税別)

一般	4,000円
学生/社会人	2,000円
小学生/中学生	1,500円
幼児	2,000円
障がい者	3,000円
障がい者同伴	3,700円

シアタートラム
03-6672-2421

同時通訳あり

2021年

英語チラシ

A Reading Play
"These Children's Summer"
1945・Hiroshima, Nagasaki

Simultaneous English translation will be provided at all performances.
Rental of ear-sets will be free of charge.

Conceived and Directed by Koichi Kimura
Assistant director Keita Shirai
Cast Natsuki Oh, Kazuko Kato, Kaho Shimada, Yoshiko Tokoshima, Mizuki Nishiyama, Toshie Negishi, Hideo Hara
English Translation by Sayuri Suzuki

Towards his end, I couldn't help saying, "I'll go with you."
But he answered, "No. You can come later."
He also added, "It's all right because I was able to see you before I go."

Japan is the only country in the world that has experienced the nuclear bomb. A leading stage director of Japan, Koichi Kimura has taken the writings, memoirs and journals of the actual victims of the bombings and created a reading play with the central theme of "Mother and Child".
Ever since its first production in 1985, the play has had nearly 800 performances all over Japan.
The words of children just before their death; the remorse of the Mother who scolded her child because he didn't eat his breakfast; the young boy who has to cremate his dead parents... The episodes are heart-wrenching at times and truly moving.
The play does not cry out against war, nor does it rant about being victimized. It simply weaves words of affection and bonding between the Mother and Child.
A young girl who has leukemia as a result of the A-bomb writes, "I will live. I will survive" despite her suffering and dreams of a better tomorrow.
We want the world to hear the brave, positive messages of hope that the children had before their short lives drew to a close.

Performances: Saturday, August 5, 2023 1pm & 5pm
Sunday, August 6, 2023 2pm
Venue: Theatre Tram (Sangenjaya, Tokyo) Access:

Tickets: Adults ¥4000
Under 24 ¥2000
Middle school students and under accompanied by adults ¥1500

Presented by Japanese Centre of ITI/New Chikuzai Theatre Company

2021年

当日パンフレット 表紙

朗読劇
この子たちの夏
1945・ヒロシマナガサキ

上演台本掲載

死なせり、わたしもわすれず、母ちゃんもいし、と行くからね、と申しました。
あひからでいよと申しました。……お母ちゃんもあんなにかいよと申しました。

2021年

当日パンフレット 中表紙



当日パンフレット 目次



(2) (1) 以外で当事業において作成したもの
作成しておりません。

(別紙5)

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名 : 公益社団法人国際演劇協会日本センター

(コウエキシャダンホウジンコクサイエンゲキキョウカイニホンセンター)

住 所 : 〒151-0051

東京都渋谷区千駄ヶ谷4-18-1 国立能楽堂内

代 表 者 : 会長 永井多恵子 (ナガイ タエコ)

担当部署 : 事務局 (ジムキョク)

担当者名 : 壺岐照美 (イキ テルミ)

電話番号 : 03-3478-7218

E-mail : admin@iti-japan.or.jp

U R L : <https://iti-japan.or.jp>